出、メーカーの工場で用し、車両を韓国に輸的に国産トラックを使

ばす考えだ。 地方での販売実績を伸

観点から残コンを減ら

炭素化や廃棄物削減の

徴がある。車両は基本 操作を必要としない特

している。今後は東北でも徐々に実績を増や

ゼネコンがポンプの戻いる。特に近年、大手新技術の導入を進めて

入れている。

ズされており、 日本向けにカスタマイ

特殊な

ピートも多く、西日本解した業者からのリ

西日本

減する材料の開発、革残コンや戻りコンを削

HCP 5 Z 34

同社と韓国メ

カー

ばしており、群馬県内

川端工業

(福井市、

全国で販売実績を伸

では4社が導入してい

0776 · 59 · 233

中村光宏社長)は

開発した車両で、

る。

一度使い勝手を理

販売するポンプ車は

たセミロングブー

B S F 27

-4」を開

進める。

たなユーザ

本市場のサイズに合っ

岡勇樹社長)は日

ク

日独共同開発のBSF 27-4

本を最重要市場の一つツマイスター自身が日

特集

コンクリートポンプ

コ製ポンプを販売

ベトンスター社代理店に

EVERD

G M

ベトンスター社の日

本販売第1号は「H37

排出が抑制できる。

長谷川社長は「M

P26 ZX_| ECP37 Z ヴァダイム社は「EC とができ、燃料消費と

に販売を継続する。エンプ車もこれまで同様

工

機種を販売する。BHD32Z4」の2

一酸化炭素(CO²)

い。積載量を増やすこ に比べ軽量で薄く強 レンクスは従来の鋼板 を取得している。スト

エヴァダイム社のポ

では「BHD18RZ4」

に参入した。日本市場

本市

場で販売して

ストリビューター事業

用することで壁サポ

ークレーンの柱を

る。ベトンテックでは、トなしで高く自立でき

増やして、

- ト工事のあり方して、国内のコン

心に販売・稼働実績を

今後は西日本を中

-なしで高く自立で

Z以外の車両も順次日

据え、

同社は昨年ディ

| 一字後のコンク

トリビューターで、ム長32mの大型ディ

ト工事でも使用していたほか、中央建設に導たほか、中央建設に導

する。 今後、 H37-ンド鋼板であると説明 ない」と国際的なブラ

者に納車してきた。

BHD32**Z**4は

5 Z

で、4月26日

日本販売第1号のH37-5Z

国大手建設機械メー これまで扱ってきた韓 販売代理店となった。 契約を結び、コンク トンスター社と代理店 くアック (三重県東員 建機販売を行うベト 0 5 9 4 86 0 トポンプ車の日本 ジメーカー、ベトルコの大手 長谷川聖紘社 トップシェアのディストリビューター ンプ車を扱う。また、両社のコンクリートポ 力 トリビューター専業 (エヴァダイム) 社と

を行った。37m5段林正孝社長)で展示会

査があり、スウェーデ

販売した。特に47 m

ム車は5段ブ

能。天井高4·5 m以

下で展開可能なため、

登録実用新案を取得し 社長)と共同で開発 市東淀川区、

することで従来工法に

載することで自走も可 ションで台車などに搭

5」の4車種を主力に 5 | ECP47CX

使用できるほか、オプワークレーンに載せて

けるため、専用の治

行ったケーソン製作作

愛知県内で

フローティング

上にディス

ソン建造

をシバシン商会(大阪

ム車で、

鋼板にス

ない。ポンプ車ではベ でしかロゴを使用でき ン製鉄が認めたところ

トンスター

以外に認証

でに同社系列会社の中

優位性を誇る。これま を備え、長距離圧送で

央建設をはじめ、

鳥取の圧送業

る。

に大手ゼネコン各社の

長谷川社長は「すで

や屋内でも使用でき

ている。

東海(三重県桑名市、 と5月10日に整備工場

renx認証を取得す

 $\begin{array}{c} I\\ n\\ e\\ r\end{array}$

Ş

X TECP43 CX

でブーム長は18m。

タ

レーンの柱にコンク

、イストリビューター

能という。タワーク技術提案することも可

語る。

デ

ィス

IJ

ビューター導入の効果

を変えていきたい」と

ンタル会社と協働し 国内タワークレー

能という。

18 R Z 4 はカニ型

販売代理店を務めてい ナ社(トルコ)の日本 750 ㎜)、日野自動車 カーのブームマキ り、My Inne レンクスを用いてお ウェーデン製鉄のスト

での車両に比べ600 **加短縮した。** Strenx認証 。旋回機構 を取得したメーカーは

変更し、軽量化を実現。 さらにスカニア車には からボルトアップ型にも従来のシリンダー型 装備し、作業性と走行 エアサスペンションを いる。岡社長は「今秋多くの引き合いが出て めたい」という。今月 から販売を開始し、来いる。岡社長は「今秋 目会は3月に実施し、 張メッセで行う建設・ 春以降に引き渡しを始 日に千葉市の幕 向けのお披露

タケ・サイト

\付着防

前開発

し、先送りモルタルの く均一な潤滑層を形成 し、圧送するだけで薄 やT字管などから投入

を実現した。そのため、

車両全長9m以下

mm の 2 車

展示し、 測量生産性向上展にも 幅広くPRす 雅成社長) は3月にコ 市駿河区、 用生コンクリー タケ・

 $\begin{array}{c} 0\\5\\4\\ \cdot \end{array}$ 17、武田

(静岡

り、生コンと混ざるこ

とで品質低下の原因や

溶液が排出され、取り生コンを圧送する際に

役目を果たす。その後、

打設打ち継ぎ面に油膜

を形成するなど問題に

合も生コンの品質に与 える影響が少ない。開 発の経緯について武田 では油脂系付着防止剤 では油脂系付着防止剤

ちらもゼネコン することができる。こ 除いた後は通常に圧送

・ 首都圏の大

CNF配合で環境配慮

トポンプ車専

なっていた。また、

送前の先行材を油と

コンク

筒先処理が非常に厄介 緒に圧送してしまい

声があり、

. 圧送用先

ジェクト現場で

剤『ルブリ』を応用

だった。

る

岡社長は今後につ の声に耳を傾 こさない。 防止剤「オビス」の販 売を開始した。 トポンプ車のホッ

ナノファイバ

C F

そこで、セルロース

すでに、大型プロジ

エ

テラは粉末タイプの

後

同社ではルブリ、

(開発した」と語る。

も出ている。標準採用されるケース

N)と生コンスラッジ

大型 ム車 は生コンが付着しない ざっても品質低下を起 者が使用し始めている。 のとして一部の圧送業 付着防止剤に代わるも パ部に塗り込む付着防 ボンプ車のホッパ 剤で、生コンと混 既存の油系

スが多い。しかし、液よう防止剤を塗るケー つと油分が底部に溜ま ダレしやすく時間が経 ることはなく、 を開発した。液ダレす を主成分とするオビス

等の機能を有し、万が従前の付着防止剤と同 ぐに乾燥し、 リッド作用で塗布後す と無機粉末のハイブ 着防止膜を形成する。 生コンと混ざった場 強固な付

C N F とコンクリー 動性を良くする先行 「テラ」の製造、 また、同社はルブ

出始めている。ビスに切り替える例が ンプ車のホッパ部は元クト現場に入場するポ 請ゼネコンの要請で 。 造、販売 --上改質剤

白会を通じて、会員はリート圧送事業団体連 逆転運転で約3分練り 時に無害化できる。ま 混ぜるだけで砕石化で 撹拌羽根とSパイプを テラは全国コンク パ内に散布し 六価クロムを瞬

介された。これを弾みの表紙でも両工法が紹 で が に 今後の さらなる 普及 の表紙で も両工法が紹 刊する $\underline{\mathbb{S}}$ 建設工法NET 建設物価サ に登録しており、 『2021年 021年版-ビスが発

国土交通省の新技術活ラとも普及を促すため

神奈川県横浜市西区楠町27-9 横浜ウエストビル402号

パン(千葉県富里市、 ノツマイスタージャ m 多様な現場で使用可 始する。国内で最も売発、今秋から販売を開 ム車を開発

プツマイスター

を開発することで、新 れ筋の20m台後半の ムを持つポンプ車 -の開拓を 軸トラック (4×2 指し、 シャシ)で、ブ 高い機動性の実現を目 ツと日本の技術者が共 同で開発した車両だ。 コンパクトな2 模の現場にも入場でき 都市部の狭隘な中小規

のプツマイスターが日 は27m4段2型とし 本市場向けに開発した 同モデルはドイツ ム長 恵)。ブ 強力なエンジンを搭載 るマシンである。 配管レイアウトとし、 業範囲の拡張と同時 量化を図っている。 している(スカニア ムも強固で軽 ム配管は片側 0馬力の

管サポ 慮した設計とした。 りについて「コンパク 新型のボルトタイプ配 社長は開発時のこだわ ンス性・耐久性にも配 な車両の実現のため 全てをゼロから設 トでメンテナ ガパスカルを達成して 仕様で6・7メガパス 性を両立させた。 カル、高圧仕様で10メ オプションを採用し、 た。また、高低圧切替 軽減し、スムーズなポダー機構による振動を 最大吐出圧力は標準圧 ンピングを可能に アとドライブシリン である高性能ショック ブツマイスターの特徴 レスFFHメインポン 心臓部分のポンプは

初めてのマシンで、岡

を対象に新製品を開発 社長は「一つの国だけ

したケースはなく、

し、建築から土木の現場への対応を可能と すでに同社のメイン 建築から土木の現 1台で多様な現 ね、 日本で長く愛され で、 「新商品は改良を重 るマ 体制も強化し、日本工る。さらに、サポート る。さらに、 両機種をメインに据え が、今後は中型、 をメインに据えてきた 社は30m超のブ たポンプ車を提供して け、日本の現場に合っ いきたい」と語る。 既存商品も含め シンに育てて

場の充実も図る方針だ。

線に立った製品開発を が、故障した時のメンプ車だ も有し、今後も顧客視 できるが、圧送性が国 スムーズポンピングが 産に近いオ ープン回路 る程度はユーザ さほど難しくなく、 な設計のため、修理も築している。シンプル 修理ネットワークを構 で修理することも可能

部品のストッ

(第3種郵便物認可)

部品を扱う赤城産業

52.6685

里見

を行っている。関東・ポンプ車の輸入・販売

有するポンプ車を開発

いる。

同社の車両の

進める。

制の充実を継続してい

る予定で、

サポ

カーの技術者も常駐す

び月の半分は韓国メー

している。同社の開発

特徴であるFFH

9

ーフロー油圧システ

導入が進んでいる。

スタンスはこれからも 取り入れること。この

変えず、顧客が求めて

川端工業

革新技術の導入進

める

きる点が評価された。

モレステは現場で水

配管

発生量をほぼゼロにで

は、モバイルプレー

を発揮する。

道から九州まで全国で 北陸地区を中心に北海

方針は、

顧客の要望を

売から10年近く経ち、

施工現場での認知度も

がっている。

いくとしている。 いるものを作り込んで ポンプ車とポンプ車

(前橋市、

和夫社長)

韓国製

38 m、26 m、26 m、27 m、27 m、34 mのブームを 34 mのブームを 34 m、24

そん色ない能力を有

国産メーカーの車両と

赤城産業

H

本向けポン

車販声

る。

装して日本に輸入す ポンプや鋼板などを架

る26 mブ

ム車「HC

主力車種の一つであ

ム)を導入しており、

テナンス体制も全国に

ろえている。新型コロ

根元ベン

響が落ち着いたら、再ナウイルス感染症の影

量が1.

4 m/Hで、

P4Z26」は最大吐出

ラックで、スカニア(4なホイールベースト

した。安定性を確保し

る覚悟だ」と説明する。

的な価値提供を約束す

計・開発した」と語る。

いる。

ペデスタル(台座)

長期

顧客ニー

ズの反映進め

発生量を削減 を用いることで残コン

4.1枚 モレステ」、残 カイ材 モレステ」、残 先行材「モレステ」、残先行モルタルに代わる スター」の営業に力を おり、同社が販売する 大手ゼネコンでは低 に呼ばれるケースが増 の大手ゼネコンを中心 長は「近年は関東地区 を抱いている。 す取り組みに強い関心 各種商材のデモを と粉体を混合し、 に流すだけで先行モル

日も茨城県内で実演 している」と話し、

るまで廃棄するだけ 常な生コンの色に変わ を施しており、 通過したモレステが正 有する。ピンクの着色 タル材と同等の機能を バスターは圧送 配管を

に粉体の残コ

剤。工事開始時に使用砂利状態にする処理 るだけで、残コンを砂・ ターを投入して撹拌 したモレステも一緒に

用理 式の

平両 に 18

すス る

カーのようなミッ・かっとうフームの活用を進いる。ショベル ングブームの活用を進 革新技術の導入で

防波堤改修工事で使用した 場打ち工法の見直しにが採用できたため、羽で通常の現場打ち工法 た。同車を用いること提改修工事で使用し 置。配管場所から配管ングブームを現場に設 想定している。 長距離圧送する事例を でポンプ車とつなぎ、 今年

例として同社で ームを現場に設ハイルプレーシ 完全整備のポンプ車 資格所持者による責任施工

埼玉県圧送技能士会 会員一同

早 水 久 司

埼玉県桶川市北1丁目2-3 〒363-0011 TEL (048) 871-5462 FAX (048) 871-5463

神奈川県『江圧送業協同組合

〒220-0003

ビューターに近い役割を現場でディストリーを、狭隘な場所でも自った。大大、神では、土木、神のでは、土木、神のでは、土木、神のでは、大きない。

建首

入れない現場で優位性入れない現場で優位性人がない現場で優位性のコン

を果たす。

だ浜)1/に近い役割

TEL.045-314-1385 FAX.045-314-1437 http://www.kcpk.jp

~建築から土木まであらゆる状況に答える~

理事長 荒井 康博

ポンプ車とポンプ車の部品のことなら 赤城産業株式会社



事業内容

○コンクリートポンプ車販売 ○コンクリートポンプ車部品販売

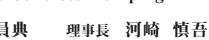
代表 里見俊介

URL http://www.akagi-cp.com

本社 〒371-0845 群馬県前橋市鳥羽町8-6 TEL·FAX 027-252-6685

東海地区コンクリート圧送有限責任事業組合

Toukai Area Concrete Pumping LLP 会 長 長谷川 員典



〒450-0002 名古屋市中村区名駅3-17-34 ナカモビル TEL052-582-5910 FAX052-582-5911



愛知支部 T450-0002 名古屋市中村区名駅3-17-34 TEL 052-582-5910 FAX 052-582-5911

三重支部 T512-0913 四日市市西坂部町3581 TEL 059-331-6268 FAX 059-332-8212

岐阜支部 T500-8381 岐阜市市橋5-11-7上松ビル1階 TEL 058-273-9701 FAX 058-273-9705

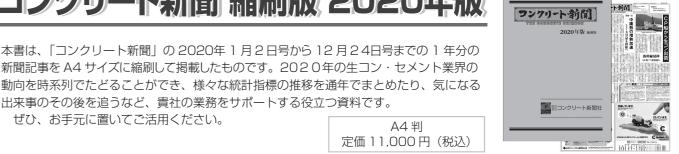
東海地区コングリートボ

-年間のセメント・コンクリート業界の動向が把握できます コンクリート新聞 縮刷版 2020年版

本書は、「コンクリート新聞」の 2020年 1 月 2 日号から 12 月 2 4日号までの 1 年分の 新聞記事を A4 サイズに縮刷して掲載したものです。2020年の生コン・セメント業界の

出来事のその後を追うなど、貴社の業務をサポートする役立つ資料です。 ぜひ、お手元に置いてご活用ください。

A4 判 定価 11,000円 (税込)



ご注文はコンクリート新聞社 TEL 03-5363-9711 FAX 03-5363-9712